事業番号	15　01　02	事業改善シート（31年度実施事業分）	□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	公共交通機関を活用した学習活動推進事業	部局	教育委員会	課・室	教育政策課
		実施期間	H29 ～	E-mail	kyoiku@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進

1　事業の概要

現状（予算編成時）	子どもたちを取り巻く環境は社会情勢の変化等とあいまって刻々と変化しており、子どもたちにとって必要となる学びを習得するには学校だけでは限界がある。 地域鉄道において、沿線人口の減少等により、輸送人員が減少傾向にある中で、子どもたちの鉄道利用機械が少ないことやマナー面での課題がある。	31年度予算額	3,339 千円
		職員数	0.60 人
目指す姿	地域企業であるしなの鉄道と連携し、魅力的な発表の場を提供することにより、高校生が自ら課題を見つけ、解決するための力を育成する。 （主な実施内容：しなの鉄道との共催イベントの実施）		

事業コスト 区分（単位：千円）		29年度	30年度	31要求	31予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算		2,819	3,339	3,339
	補正予算	1,892			
	合計（A）	1,892	2,819	3,339	3,339
Aの財源	一般財源				
	県　債				
	国庫支出金				
	その他	1,892	2,819	3,339	3,339
決　算　額（B）		1,892			
概算人件費	職員数（人）	0.6	0.6	0.6	0.6
	概算人件費（C）	4,861	4,861	4,861	4,861
概算事業費（B（A）+C）		6,753	7,680	8,200	8,200

指標及びその達成状況

No	成果指標	29年度末	30年度末（見込）	31年度 目標値	31年度 成果	31年度 達成状況
1	「学習の場」として鉄道を利活用し、地域を学ぶ県立高校数	16校	16校	16校		

成果指標設定理由	・社会との接点が少ない子どもたちの社会性を高めるため、より多くの児童・生徒に「教育の場」としての鉄道利用促進を図る。

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	要求どおり

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	31年度　実施内容（予定）	職員数（人）	30年度（当初）	31年度（要求）	31年度（予算案）
1	公共交通機関を活用した学習活動推進事業	しなの鉄道との共催イベントの実施	0.60	2,819	3,339	3,339
	合計		0.60	2,819	3,339	3,339